

# 「学び合い活動」で “動きづくり!” “体力づくり!”

学校名 **福岡県**  
てんじんやま  
**春日市立天神山小学校**  
全校児童数422名  
(男子205名 女子217名)

実践内容

実施目的

本校の重点学習活動『学び合い活動』（課題把握→表現→学び合い→行動化）を教育活動全体に位置付けた健康づくり教育の推進を通して、活動の見通しをもち仲間とともに運動・スポーツに親しんでいく資質や能力（生涯体育の基礎）を培う。  
①各種の運動の基礎となる「多様な動き」や「巧みな動き」の確かな定着。  
②運動・スポーツに親しむための「基礎体力」の向上。

実施内容

## 1 『学び合い活動』を“旺盛にする” 体育科学習指導の充実（図①）

### (1) 見通しをもち自ら動きを高め続ける授業づくり

#### 〈運動を構成する動きの分析〉

運動の系統性（低学年→中学年→高学年→中学校）及び内容からねらう動きや技能を明確にし、構造的特性や運動局面（準備→主要→終末）から分析する。

#### 〈意欲を喚起する教材の開発〉

勝敗や達成が「未確定」であり、すべての子どもに「活躍の機会」があり、「自己目標の設定が可能」で「技能の伸びが実感できる」という条件を満たす。

#### 〈動きの高まりのある単元構成〉

単純な動きから複雑な動きへのスモールステップを踏まえた動きの配列を行う。

#### 〈動きの高まりとよさの自覚を図る自己評価〉

子ども自身が評価可能な内容から「できる」内容を焦点化する。

### (2) 仲間とともに動きを高め続ける課題解決活動

上記の『学び合い活動』に、「トライタイム」「チャレンジタイム」「パワフルタイム」「キラリタイム」の4つの場を位置付け、一連の活動過程を機能させる。

### (3) 動きの課題を解決する活動への支援

〈動きのモデル提示〉〈練習方法の提示〉〈動きの記録ノート〉〈柔軟な練習の場の設定〉

## 2 『学び合い活動』を“積み上げる” 業前・業間体育の充実

毎朝の健康タイムや昼休みの児童の委員会活動でも、見通しをもった活動や異学年ペアでの活動を工夫し、体育科・体育的行事との関連を図り（図②）、意欲を継続させながら基礎体力づくりを計画的・組織的に推進する。

### (1) 健康タイム…月～木曜日8：35からの10分間、わんぱくウォーク（写真①）の継続的実施。2月の大会への見通しをもって行う。雨天時は、天神山体操（写真②）を行う。

### (2) 児童会タイム

学期に一回、昼休みに「鉄棒交流会」（写真③）「マット交流会」（写真④）を児童の体育委員会が主催し、地域の学生ボランティアの協力を得ながらペア学年（1・6年、2・5年、3・4年）で実施する。

実施上で工夫したこと

体育科の中でも、日常指導の中でも『学び合い活動』が展開できるように工夫した。

主な成果



- ① 『学び合い活動』を位置付けた体育科学習指導の積み上げを通して、仲間とともに自他の動きを高め合うことができるようになり、確かな動きの定着を図ることができてきた。
- ② 業前・業間体育の継続を通して、運動能力総合評価はA～C判定の子どもが過去3年間続けて85%を越え、本年度はそれを上回る88.4%の値を示し、ほとんどの項目において全国平均を上回った。



〈モデルとなる動きがとらえやすいスロー再生によるビデオ提示〉

〈課題に応じて選択できる練習方法の提示〉

〈動きの実態に応じて対応できる柔軟な練習の場の設定〉

ゴムハードル    ダンボールハードル

ケンステップとハードルの組合せ

【図①】第4学年単元「小型ハードル走」における課題解決活動と支援

「トライタイム」「チャレンジタイム」「パワフルタイム」「キラリタイム」の場で『学び合い活動』を展開

前 期	後 期		
	4月	5月	6月
<p>水泳指導（プール開き） 交通安全教室（1・4年） （わんぱくウォーク強化週間）</p>	<p>水泳指導（プール開き） 交通安全教室（1・4年） （わんぱくウォーク強化週間）</p>	<p>水泳指導（プール開き） 交通安全教室（1・4年） （わんぱくウォーク強化週間）</p>	<p>水泳指導（プール開き） 交通安全教室（1・4年） （わんぱくウォーク強化週間）</p>
<p>・自分で行動できる。 ・ペアに認められてできた自分に喜びを感じる。 ・お手柄になれた自分に喜びを感じる。</p>	<p>・自分で考えて行動できる。 ・友達と協力し自他のがんばりを認める。 ・保護者や地域の方から賞賛され達成感を味わう。</p>	<p>・めあてをもって行動できる。 ・ペアに認められてできた自分に自信をもつ。 ・お手柄になれた自分に自信をもつ。</p>	<p>・めあてに向かって最後まで努力する。 ・やり遂げた達成感を味わう。 ・自他のがんばりや高まりを互いに認める。</p>
<p>・廊下で整列してから運動場に集合する。 ・よい姿勢で静かに待つ。 ・手本に習って取り組む。 ・言葉や動きで教える。</p>	<p>・差早い集団行動を行う。 ・正しい姿勢、電気を検挙、ブロックの身としての自覚をもつ（応援・感度）。 ・係の仕事に責任をもつ。</p>	<p>・自分のめあてを常に意識して取り組む。 ・正しいフォームを身に付ける。 ・時間を守って行動する。</p>	<p>・大会に向けてめあてを明らかにして取り組む。 ・正しいフォームで最後までやり通す。 ・規律ある集団行動を行う。</p>

【図②】体育科・体育的行事との関連を図った日常指導の年間指導計画

「ほめる」「つなぐ」「積み上げる」をキーワードに体育的行事と日常指導での指導のポイントを具体化



【写真①、②】健康タイム

ウォークや天神山体操等での基礎体力づくり

【写真③、④】児童会タイム

体育科年間指導計画と関連付けた委員会活動